講義名	キャリア基礎論					授業形態	
担当教員	後藤　奈々子	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 ３時限				
		単位数	2	履修開始年次	２年生	ナンバリング・コード	CAR220

主題と概要

受講生は変化する日本の労働市場において、多様化する大学生の進路について学ぶ。その多様化する進路を自ら選択できるように、実社会の事例を取り上げることで将来をイメージしていく。
就職だけでなく人生全体を考え、自らの夢に向かうために、社会の現実と自己を照らし合わせて自分の目標を明確にし、新たな自分を創り上げていくことを目的とする。

到達目標

・日本の労働市場を知ることで大学生の就職環境について説明することができるようになる
・業界や職種などの違い、働き方（ワークスタイル）を理解し、自分の希望する仕事の絞り込みができるようになる
・社会が求める人材像や能力を知ることで将来のキャリアに向けて学生時代の目標設定ができ、その達成までのロードマップを策定し、充実した学生生活を送ることができるようになる

提出課題

・毎回の授業に関連したミニレポート
・課題レポート
・基礎能力小テスト
・最終レポート

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

毎回の授業に関連したミニレポートについては、次の授業の冒頭でフィードバックを行う。課題レポートや小テストについては、提出した次の授業で全体講評および傾向のフィードバックを行う。

評価の基準

・毎回の授業に関連したミニレポート（45点）
・課題レポート（15点）
・基礎能力小テスト（5点）
・最終レポート（35点）
※15回の授業のうち、3分の1（5回）以上の欠席者は評価対象外とします。ご注意ください。
※最終レポートの提出は必須です。必ず提出してください。

履修にあたっての注意・助言他

・この授業は、いずれ社会に出ていくための練習の場です。社会生活を送る上で必要なルールやマナー（時間を守る・私語を慎む等）を守って出席してください。
・授業内ではペアワークやグループワークを実施します。一定の自己開示と、自分も他者も尊重する周囲との関わりを心がけてください。
・就職活動が本格化してから焦ることがないよう、意識的に日ごろから社会全体についての情報に関心を持ってください。

教科書

・使用しない.				

参考図書

・なし.				

その他

授業で使用する資料は適宜配布し、参考文献は授業内で紹介します。

授業計画

1.オリエンテーション　―授業概要と動機づけ―
予習内容：シラバスを熟読し、履修目的や講義の流れを確認する（90分）
復習内容：配布資料を再読し、「キャリア」について学んだことと自分の考えを整理する（150分）

2.大学での学びとキャリアデザイン
予習内容：ここまでの大学生活を振り返り、課題を洗い出す（90分）
復習内容：講義資料を再読し、講義内のワーク内容について再度熟考する（150分）

3.“働く”ってどういうこと？
予習内容：現時点での“働く”に関する知識とイメージを整理する（90分）
復習内容：講義資料を再読し、新たに獲得した知識とイメージを確認する（150分）

4.働き方研究①　―多様なワークスタイルの種類―
予習内容：様々なワークスタイルについて調べる（90分）
復習内容：様々なワークスタイルの特徴や背景、状況や課題を整理する（150分）

5.働き方研究②　―社会人のキャリアパス―
予習内容：「キャリアパス」という言葉について調べる（90分）
復習内容：講義資料を再読し、企業・組織・人生全体のキャリアパスについてイメージを深める（150分）

6.働き方研究③　―ワークライフバランスって？―
予習内容：「ワークライフバランス」という言葉について調べる（90分）
復習内容：講義資料を再読し、ロールモデルと自身の価値観を照らし合わせて再考する（150分）

7.仕事研究①　―世の中の仕事の種類―
予習内容：世の中の仕事について、職種や業種の種類を調べる（90分）
復習内容：身近な人の仕事について仕事インタビューを行い、知見を広げる（150分）

8.仕事研究②　―各職種の特性と必要なスキル―
予習内容：仕事インタビューの内容をまとめる（90分）
復習内容：講義内で共有した様々な仕事内容や特性を整理し、必要なスキルを確認する（150分）

9.仕事研究③　―各職種の面白さと大変さ―
予習内容：仕事インタビューで得た知識や情報をプレゼンテーション用にまとめる（150分）
復習内容：他者のプレゼンテーションから得た気づきや学びを整理する（90分）

10.社会人のコミュニケーション①　―電話・メール対応―
予習内容：電話・メール対応の基礎知識について調べる（90分）
復習内容：講義資料を再読し、知識を定着させた上で実践する（150分）

11.社会人のコミュニケーション②　―アサーショントレーニング―
予習内容：「アサーション」という言葉について調べる（90分）
復習内容：講義資料を再読し、講義内のワーク内容を振り返り、実践に繋げる（150分）

12.社会で求められる基礎能力①　―適性検査の概要―
予習内容：適性検査の種類や特性について調べる（90分）
復習内容：講義内で測定した自身のデータや分析結果を振り返り、再考する（150分）

13.社会で求められる基礎能力②　―能力検査の傾向と対策―
予習内容：能力検査の種類や傾向について調べる（90分）
復習内容：講義内で学習した対策内容や小テストの出来を振り返り、課題を克服する（150分）

14.就職活動に向けて　―準備と心得―
予習内容：就職活動に対する自身の準備状況やモチベーションを整理する（90分）
復習内容：講義資料を再読し、講義内のワーク内容について再度熟考する（150分）

15.まとめ　―最終レポートの完成―

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
○	ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
○	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

当該科目は、多様化する進路を自ら選択できるように、実社会の事例を取り上げることで将来をイメージしていくことを主眼とした授業であり、「働く目的と仕事観の醸成、自身の適正と適職探し、職種と業界の特性分析等を体系的に行う」というキャリア科目のCPと合致していると考える。また、知識やスキルを自分のものに落とし込むことに重点を置いた授業であり、「知識を知恵に変換することができる、論理的思考力を持った人材」という本学のDPと合致していると考える。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

毎回、授業冒頭でミニレポートや課題レポートのフィードバックを実施し、必要に応じて解説や回答を行う。また、授業内で適宜Responを使用した設問やアンケートを実施し、リアルタイムで意見の交換を行う。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
キャリアコンサルタントとして、大学生の就職支援や企業・自治体職員のキャリア相談員およびキャリア研修講師に従事。葛藤に寄り添い、社会や他者・自身と向き合うスキルやマインドについて、専門的な知見からお伝えします。

備考

状況によって、シラバスを一部変更する可能性があります。